



令和8年3月13日

消防博物館特別企画展 ～消防博物館×「火喰鳥 羽州ぼろ鳶組」コラボ展～

消防博物館（新宿区四谷三丁目10番）では、令和8年3月20日（金・祝）から同年5月24日（日）まで「消防博物館特別企画展～消防博物館×「火喰鳥^{ひくいどり}羽州ぼろ鳶組」コラボ展～」と題した特別展示を同館6階企画展示室で開催します。

江戸の火消にまつわる展示を、火喰鳥のキャラクターとともに紹介していますので、是非ともお立ち寄りいただき、江戸の火消しの世界に想いを馳せてみてください。

1 開催期間

令和8年3月20日（金・祝）から同年5月24日（日）まで（休館日を除く）

2 開催場所

消防博物館（新宿区四谷三丁目10番）

3 企画展概要

別紙のとおり

4 オープニングセレモニー

開催に先立ち、令和8年3月20日（金・祝）11時00分から「火喰鳥」の原作者で小説家の今村翔吾先生をお招きし、オープニングセレモニーを実施いたします。

なお、今村先生のプロフィールは別紙のとおりです。

5 その他

(1) オープニングセレモニーの取材を希望される社は、**3月19日（木）12時00分**までに広報課報道係までご連絡ください。

なお、その他の展示期間に取材はできません。

(2) 当日は、**6階企画展示室入口付近にて10時30分から受付**を行います。

(3) 駐車場はございませんので、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

(4) 取材の際は、**自社腕章を着用**してください。

(5) 四谷消防署、消防博物館へのお問合せはご遠慮ください。

6 消防博物館URL

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-hkkan/museum.html>

問合せ先

〔東京消防庁(代) 電話 3212-2111
広報課報道係 内線 2345～2349〕

消防博物館特別企画展

～消防博物館×「火喰鳥 羽州ぼろ鳶組」コラボ展～

1 展示内容

消防博物館が収蔵する江戸の火消にまつわる資料と「火喰鳥」のアニメ原画やキャラクターの等身大パネル等を組み合わせて展示します。

主な展示は、以下のとおりです。

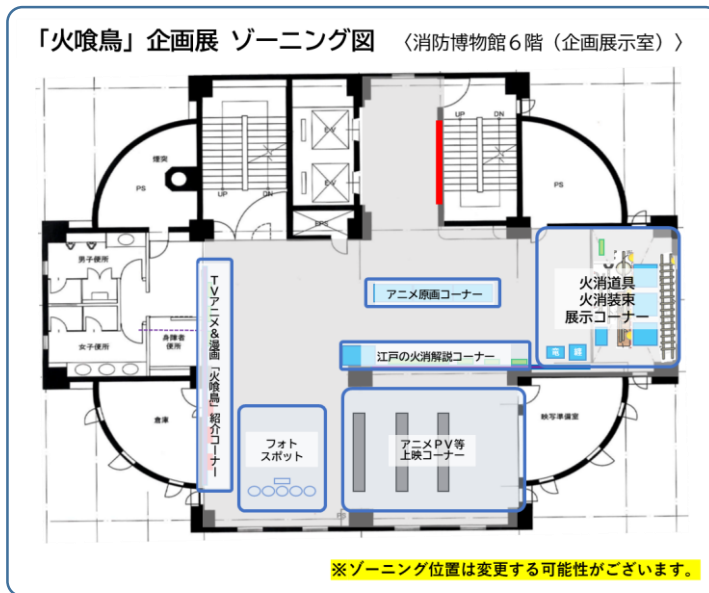
○火消道具（刺又、鳶口、竜吐水等）

○火消装束

●アニメ原画

●火消解説パネル

※フотスポット



2 今村翔吾氏（原作者）のプロフィール



歴史小説・時代小説家
今村翔吾（いまむら・しょうご）
生年月日 1984年生まれ
出身地 京都府（滋賀県在住）

（公式プロフィールより）

1984年京都府生まれ。滋賀県在住。ダンスインストラクター、作曲家、守山市埋蔵文化財調査員を経て作家デビュー。
2016年「狐の城」で第23回九州さが大衆文学賞大賞・笹沢左保賞を受賞。デビュー作『火喰鳥 羽州ぼろ鳶組』（祥伝社文庫）で2018年、第7回歴史時代作家クラブ・文庫書き下ろし新人賞を受賞。「羽州ぼろ鳶組」と「くらし屋稼業」（ハルキ文庫）は、続々重版中の大人気シリーズ。
同年、「童神」で第10回角川春樹小説賞を受賞。「童神」は『童の神』と改題し単行本として刊行（角川春樹事務所）。第160回直木賞候補（2018年下半年）にもなった。2020年『八本目の槍』（新潮社）で第41回吉川英治文学新人賞、第8回野村胡堂文学賞受賞。『じんかん』（講談社）で第163回直木賞候補、第11回 山田風太郎賞 受賞。2021年『羽州ぼろ鳶組シリーズ』（祥伝社）で第6回吉川英治文学賞受賞。2022年『塞王の楯』（集英社）で第166回直木三十五賞受賞。
デビュー作である『火喰鳥』の地上波アニメ化や、『イクサガミ』がNetflixにて世界独占配信が決定。
ABC朝日放送『newsおかえり』レギュラーコメンテーター出演中。また、初の冠番組 ABCラジオ（関西ローカル）『今村翔吾×山崎怜奈の言って聞かせて』毎週木曜深夜放送中。
また、若者に読書や言葉の大切さを伝えることなどを目的とした一般社団法人ホンミライの代表理事を務めるほか、大阪府箕面市にある書店を事業承継した書店『きのしたブックセンター』を皮切りに3店舗のオーナー。